



# 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 日本瓦斯株式会社

コード番号 8174 URL <http://www.nichigas.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 和田 眞治

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務管理本部長

(氏名) 中山 雄樹

TEL 03-3553-1281

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	81,096	7.7	3,510	41.0	3,594	66.3	1,847	145.2
24年3月期第3四半期	75,272	4.1	2,489	12.9	2,161	13.9	753	△1.3

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 2,036百万円 (249.2%) 24年3月期第3四半期 583百万円 (△19.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	38.18	—
24年3月期第3四半期	16.89	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	120,685	49,831	31.3
24年3月期	121,987	48,565	29.9

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 37,746百万円 24年3月期 36,481百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	6.50	—	6.50	13.00
25年3月期	—	6.50	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	6.50	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	121,000	9.7	8,300	10.6	7,800	9.3	3,400	8.9	70.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
  - ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	48,561,525 株	24年3月期	48,561,525 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	176,963 株	24年3月期	175,918 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	48,385,519 株	24年3月期3Q	44,605,711 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	9
(1) 生産、受注及び販売の状況	9
(2) 需要家戸数等の推移	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

エネルギー業界におきましては、原発再稼働問題により火力発電用LNGの需要が増加する一方、北米において「シェールガス革命」が起こり、地政学的状況が一変し、ガス体エネルギーの重要性が一層注目されるようになって参りました。加えて、原発事故により、エネルギー安全保障の要諦が多様化、分散型である事があらためて強く認識されてきました。

シェールガス革命の大きな特徴は、潜在箇所が多さにも増して、個々の投資サイズが小さいと云うことであります。この事は、これまでの上流エネルギーポートフォリオの在り方に、大きな変化が生じる可能性を意味します。

このような環境変化を踏まえ、当社グループは将来を見据え、川下領域に軸足を置いた積極的な投資活動を内外ともに展開しております。更に、消費者の皆様のご支持を得るべく、引き続き経営の効率化と保安体制の強化に積極的な改革投資も続けております。

その結果、当第3四半期末の当社グループのお客様数は、前期末に比べ37,981戸増加し、中期計画の目標としておりました顧客数百万戸を達成いたしました。12月末現在の顧客数は1,019,570戸となりました。

また、クラウドとモバイルデバイスの連携による新業務システムにつきましては、充填ハブ基地の拡充と新システムによる物流改革とのシナジー効果が、業務の効率化とともに、当社の実証試験で確認でき、同システムの特許取得も最終段階に入ってきましたので、当該システムの全国販売を目的に、KDDI(株)、日立キャピタル(株)との共同出資で、同システムの販売会社「(株)雲の宇宙船」を設立いたしました。来期からの販売開始を予定しております。

前連結会計年度から開始した海外での事業展開につきましては、すでに経営参加しているオーストラリアの電力・ガス小売会社(Australian Power and Gas Company Ltd)とアメリカの電力小売会社(Entrust Energy, Inc)の顧客数は順調に拡大しており、現在顧客数三十五万戸を突破いたしました。今後の連結化に向けた投資を更に進めるとともに、アメリカ北東部の電力・ガス小売事業に、新たな投資を行いました。

なお、当社グループは、国際的な金融機関JPモルガンの投資部門であるOEPとの資本業務提携契約に基づき、OEPと定期的に戦略的投資委員会を開催し、海外の共同投資先の検討を行っており、今後もエネルギー関連企業への積極的な投資を継続し、将来の事業基盤の拡大を目指して参ります。

当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては、民生用のガス販売量がお客様の増加に伴い堅調に推移したことに加え、前年同期において震災の影響を受け大幅な需要減となった業務用のガス販売量も回復したこと等により、810億9千6百万円(前年同期比7.7%増)となりました。

利益面につきましては、ガス販売量の増加に伴う増収効果に加え、業務全般に及ぶ抜本的業務システムの改革効果により、営業利益は35億1千万円(前年同期比41.0%増)、経常利益は35億9千4百万円(同66.3%増)、第3四半期純利益は18億4千7百万円(同145.2%増)と大幅な増益となりました。

なお、当社グループの売上高及び利益面におきましては、性質上季節的変動が著しいガス事業の占めるウェイトが高いために、下期に偏る傾向にあります。

当第3四半期連結累計期間のセグメント別の概況は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間から、取締役会に報告するセグメント情報の見直しを行ったため、報告セグメントを、従来の主要なガス事業に基づきグループを構成する会社を集約する「LPガス事業」及び「都市ガス事業」から、販売ガス種に基づき集約する「LPガス事業」及び「都市ガス事業」に変更しております。このため、前年同期比較については、前年同期実績値を変更後の報告セグメントに組み替えて行っております。

## 〔L P ガス事業〕

L P ガス事業におきましては、民生用のお客様数増加と業務用の需要回復により、ガス販売量が前年同期に比べ増加いたしましたため、当第3四半期連結累計期間の売上高は478億5百万円と前年同期に比べ32億6千4百万円（前年同期比7.3%増）の増収となりました。

## 〔都市ガス事業〕

都市ガス事業におきましては、ガス販売量が、L P ガス事業と同様の要因で前年同期に比べ増加したことに加え、天然ガスの販売価格が原料費調整制度により前年同期に比べ高く推移いたしましたため、当第3四半期連結累計期間の売上高は332億9千1百万円と前年同期に比べ25億5千9百万円（前年同期比8.3%増）の増収となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ①資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ13億2百万円減少し、1,206億8千5百万円となりました。これは主に、積極的な海外投資等により投資その他の資産は増加いたしましたが、借入金の返済等により現金及び預金が減少したこと等によるものです。

## ②負債

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ25億6千8百万円減少し、708億5千3百万円となりました。これは主に、未払法人税等の減少と返済が進んだことにより借入金が減少したこと等によるものです。

## ③純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ12億6千6百万円増加し、498億3千1百万円となりました。これは主に、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したこと等によるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.4ポイント向上し、31.3%となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年度については、当社グループは引き続き、顧客基盤の拡充によるガス販売高の伸張とガス機器の普及・拡大に注力し、売上高は平成23年度に対し9.7%増の1,210億円になる見通しです。

利益面については、顧客基盤の拡充に伴う経費やのれんの償却費が増加しますが、お客様数の増加等により、営業利益は10.6%増の83億円、経常利益は9.3%増の78億円、当期純利益は8.9%増の34億円となる見通しです。

なお、平成24年4月27日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ68百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	17,165	10,908
受取手形及び売掛金	8,324	8,961
商品及び製品	5,244	6,080
仕掛品	22	14
原材料及び貯蔵品	74	97
繰延税金資産	766	582
その他	1,270	1,539
貸倒引当金	△128	△131
流動資産合計	32,739	28,053
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,913	7,993
機械装置及び運搬具(純額)	38,663	37,279
工具、器具及び備品(純額)	413	422
土地	20,269	21,514
リース資産(純額)	939	1,292
建設仮勘定	397	751
有形固定資産合計	68,597	69,254
無形固定資産		
のれん	6,830	6,818
その他	721	863
無形固定資産合計	7,551	7,682
投資その他の資産		
投資有価証券	8,144	9,332
その他	5,503	7,127
貸倒引当金	△772	△862
投資その他の資産合計	12,875	15,597
固定資産合計	89,024	92,533
繰延資産	224	98
資産合計	121,987	120,685

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,124	14,148
短期借入金	17,456	13,710
未払法人税等	2,519	669
賞与引当金	387	143
その他	4,006	4,155
流動負債合計	38,493	32,827
固定負債		
長期借入金	29,614	32,579
退職給付引当金	2,069	2,099
役員退職慰労引当金	1,072	944
ガスホルダー修繕引当金	249	189
その他	1,923	2,214
固定負債合計	34,929	38,026
負債合計	73,422	70,853
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,070	7,070
資本剰余金	5,198	5,198
利益剰余金	23,980	25,203
自己株式	△59	△60
株主資本合計	36,189	37,410
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	291	335
その他の包括利益累計額合計	291	335
少数株主持分	12,083	12,085
純資産合計	48,565	49,831
負債純資産合計	121,987	120,685

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	75,272	81,096
売上原価	44,630	48,231
売上総利益	30,642	32,865
販売費及び一般管理費	28,153	29,354
営業利益	2,489	3,510
営業外収益		
受取利息	3	94
受取配当金	75	95
為替差益	—	232
不動産賃貸料	31	32
持分法による投資利益	29	24
保険配当金	2	11
その他	118	139
営業外収益合計	260	630
営業外費用		
支払利息	560	460
その他	27	85
営業外費用合計	588	546
経常利益	2,161	3,594
特別利益		
固定資産売却益	20	16
投資有価証券売却益	34	—
負ののれん発生益	37	8
その他	—	0
特別利益合計	92	24
特別損失		
固定資産売却損	—	3
固定資産除却損	57	73
投資有価証券評価損	31	0
その他	0	6
特別損失合計	89	83
税金等調整前四半期純利益	2,164	3,535
法人税、住民税及び事業税	793	1,412
法人税等調整額	542	128
法人税等合計	1,335	1,541
少数株主損益調整前四半期純利益	828	1,994
少数株主利益	75	147
四半期純利益	753	1,847

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	828	1,994
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△245	42
その他の包括利益合計	△245	42
四半期包括利益	583	2,036
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	514	1,891
少数株主に係る四半期包括利益	68	145

## (3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

該当事項はありません。

## (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 生産、受注及び販売の状況

当社グループは販売を主として行っており、報告セグメントごとに生産規模及び受注実績を金額あるいは数量で示すことは行っておりません。当社グループの売上高及び利益面におきましては、性質上季節的変動が著しいガス事業の占めるウェイトが高いために、下期に偏る傾向にあります。

## 1) 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績を報告セグメント別に示すと、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間から、取締役会に報告するセグメント情報の見直しを行ったため、報告セグメントを、従来の主要なガス事業に基づきグループを構成する会社を集約する「LPガス事業」及び「都市ガス事業」から、販売ガス種に基づき集約する「LPガス事業」及び「都市ガス事業」に変更しております。このため、前第3四半期連結累計期間の実績を変更後の報告セグメントに組み替えております。

## 報告セグメント別販売実績

報告セグメント	当第3四半期連結累計期間 (24. 4. 1~24. 12. 31)	前第3四半期連結累計期間 (23. 4. 1~23. 12. 31)
LPガス事業(百万円)	47,805	44,541
都市ガス事業(百万円)	33,291	30,731
合計(百万円)	81,096	75,272

## 2) LPガス事業の販売実績

区分	当第3四半期連結累計期間 (24. 4. 1~24. 12. 31)	前第3四半期連結累計期間 (23. 4. 1~23. 12. 31)
ガス(百万円)	36,420	32,514
機器、受注工事他(百万円)	11,385	12,027
合計(百万円)	47,805	44,541

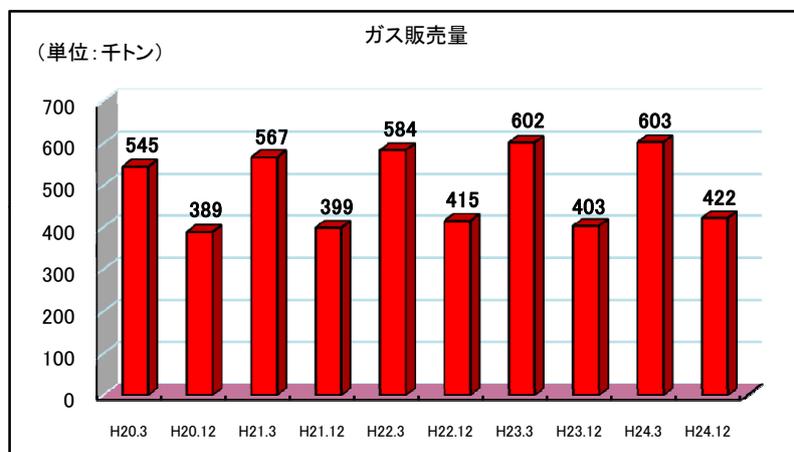
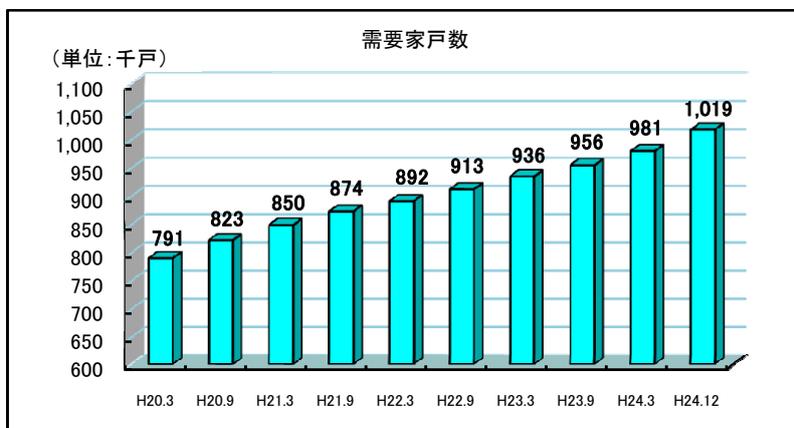
## 3) 都市ガス事業の販売実績

区分	当第3四半期連結累計期間 (24. 4. 1~24. 12. 31)	前第3四半期連結累計期間 (23. 4. 1~23. 12. 31)
ガス(百万円)	27,535	25,392
機器、受注工事他(百万円)	5,755	5,338
合計(百万円)	33,291	30,731

(注) 1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

2. セグメント間の取引高は相殺消去しております。

(2)需要家戸数等の推移



(注) ガス販売量には、都市ガス事業における都市ガス(LNG)販売量をLPG販売量(千トン)にカロリー換算して含めております。